

医療行動科学

M1-90049L1

1 ユニットの概要

患者との良好な関係性を築き最善の医療サービスを提供するためには、患者のこころや行動を理解し、効果的なコミュニケーションを交わすための基礎的な理論とスキルを学ぶ必要がある。本ユニットでは、行動科学・行動医学・心身医学等の知見から患者の行動変容を促すための諸理論やアプローチについて、受講生自身の体験的な学びを通して理解を深めるとともに、支援時に必要な医療者としての関わり方の態度や具体的スキルについても習得することを目的とする。また、医療面接で問われる傾聴の基本的態度についても体験学習を通して習得を目指す。

2 金沢医科大学の到達目標（アウトカム）

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 生涯学習
- ③ 医学知識と技能
- ④ 患者中心・チーム医療とコミュニケーション能力
- ⑤ 地域医療・社会貢献・国際貢献
- ⑥ 科学的態度・探求心

3 ユニットの到達目標（アウトカム）：

※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学の到達目標との関連を示す。

- 健康の定義や心身の健康について理解し概説できる（①、③）
- 行動の仕組みを理解し、身近な自身の行動について概説できる（②、③、⑥）
- 行動変容に必要な諸変数を理解し、自身の行動変容に活用できる（①、②、⑥）
- 患者の行動変容を促す際に必要な医療者としての関りを理解し、良好な医療者－患者関係を築くためのコミュニケーションについて概説できる（①、④、⑤）
- グループワーク、全体討議において自身の考えを他者に伝え、良好なコミュニケーションを図ることができる（①、④）

4 学 習 方 略

講義、個人演習、ペアワーク、グループ学習、レポート作成

5 評 価

評価区分	評価項目	評価の対象	評価割合
形成的評価	課題提出	知識・態度	
	出席状況	技能・態度	
	レポート	知識	
	授業態度	態度	
総括的評価	ユニット試験	知識	60%
	レポート課題	知識・態度	40%
合計			100%
1. ユニットの最終評価はユニット試験とレポート課題の総合得点とし、それぞれ60%以上の成績を修めなければ合格とならない			
2. 質問など主体的・能動的な授業参加を重視する			

6 授業スケジュール

別項参照

7 準備学習について

- ・ ガイダンス配布時の資料を熟読し、日程・手順等を理解しておく
- ・ 次回の授業までに行うべき課題に主体的に取り組み、自己理解を深める
- ・ 【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時限あたり 復習：60分

8 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

- ・ 提出された課題はコメントを付けて講義時間内に返却する
- ・ ユニット試験については、希望者に適宜フィードバックする

9 教育担当者

ユニット責任者：佐々木美保 一般教育機構 医療コミュニケーション学

准教授 佐々木美保 一般教育機構 医療コミュニケーション学

10 参考図書・文献

推奨参考図書

- ・山田富美雄（監修）津田 彰（編集）（2006）医療行動科学のためのカレント・トピックス（シリーズ医療の行動科学Ⅱ）北大路書房
- ・吉内一浩（編）（2018）今日から実践！日常診療に役立つ 行動医学・心身医学アプローチ」医歯薬出版株式会社
- ・日本行動医学会（編）（2019）行動医学テキスト 中外医学社
- ・堀越 勝（2015）ケアする人の対話スキル ABCD 日本看護協会出版会
- ・杉山尚子（2012）行動分析学入門ーヒトの行動の思いがけない理由 集英社
- ・奥田健次（2013）メリットの法則 行動分析学・実践編 集英社

第1学年

医療行動科学

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	コアカリ項目	講座名	教員名
後	1	11月02日(木)	3	講義	医療行動科学とは	C-5-G	一般教育機構 医療コミュニケーション学	佐々木准教授
後	2	11月02日(木)	4	講義	我が国の健康と生活習慣	C-5-2)	一般教育機構 医療コミュニケーション学	佐々木准教授
後	3	11月07日(火)	2	講義	行動変容に役立つ理論:健康信念モデル	C-5-8)	一般教育機構 医療コミュニケーション学	佐々木准教授
後	4	11月07日(火)	3	講義	行動変容に役立つ理論:変容ステージモデル	C-5-8)	一般教育機構 医療コミュニケーション学	佐々木准教授
後	5	11月09日(木)	3	講義	行動変容に役立つ理論:学習理論他	C-5-8)	一般教育機構 医療コミュニケーション学	佐々木准教授
後	6	11月09日(木)	4	講義	生活習慣の可視化:セルフモニタリングとは	C-5-2)	一般教育機構 医療コミュニケーション学	佐々木准教授
後	7	11月14日(火)	2	講義	健康行動の実態把握①:自己分析	C-5-2)	一般教育機構 医療コミュニケーション学	佐々木准教授
後	8	11月14日(火)	3	講義	健康行動の仕組み①:強化と弱化	C-5-2)	一般教育機構 医療コミュニケーション学	佐々木准教授
後	9	11月16日(木)	3	講義	健康行動の実態把握②:問題行動の機能	C-5-2)	一般教育機構 医療コミュニケーション学	佐々木准教授
後	10	11月16日(木)	4	講義	人間の行動の仕組み②:目標設定のポイント	C-5-2)	一般教育機構 医療コミュニケーション学	佐々木准教授
後	11	11月24日(金)	4	講義	健康行動の実態把握③:行動変容と評価	C-5-8)	一般教育機構 医療コミュニケーション学	佐々木准教授
後	12	11月24日(金)	5	講義	健康行動の仕組み③:健康行動の維持	C-5-8)	一般教育機構 医療コミュニケーション学	佐々木准教授
後	13	12月01日(金)	2	講義	対人コミュニケーションスキルと自己分析	C-5-7)	一般教育機構 医療コミュニケーション学	佐々木准教授
後	14	12月01日(金)	3	講義	行動科学的コミュニケーションと医療面接	C-5-7)	一般教育機構 医療コミュニケーション学	佐々木准教授
後	15	12月08日(金)	2	講義	行動科学的コミュニケーション:アセスメント	C-5-7)	一般教育機構 医療コミュニケーション学	佐々木准教授
後	16	12月08日(金)	3	講義	行動科学的コミュニケーション:質問の方法	C-5-7)	一般教育機構 医療コミュニケーション学	佐々木准教授
後	17	12月15日(金)	2	講義	行動科学的コミュニケーション:共感的理解	C-5-7)	一般教育機構 医療コミュニケーション学	佐々木准教授
後	18	12月15日(金)	3	講義	行動科学的コミュニケーション:ラポール形成	C-5-7)	一般教育機構 医療コミュニケーション学	佐々木准教授
後	19	12月22日(金)	2	講義	行動科学的コミュニケーション:臨床的質問	C-5-7)	一般教育機構 医療コミュニケーション学	佐々木准教授
後	20	12月22日(金)	3	講義	行動科学的コミュニケーション:方向性の決定	C-5-7)	一般教育機構 医療コミュニケーション学	佐々木准教授
後	21	1月05日(金)	2	講義	初めての患者に接する際のポイント	C-5-7)	一般教育機構 医療コミュニケーション学	佐々木准教授
後	22	1月05日(金)	3	講義	良くない知らせの伝え方	C-5-7)	一般教育機構 医療コミュニケーション学	佐々木准教授
後	23	1月11日(木)	2	講義	行動変容支援時の留意点	C-5-7)	一般教育機構 医療コミュニケーション学	佐々木准教授
後	24	1月11日(木)	3	講義	肥満・糖尿病への応用	C-5-7)	一般教育機構 医療コミュニケーション学	佐々木准教授
後	25	1月16日(火)	5	講義	禁煙・不眠への応用	C-5-7)	一般教育機構 医療コミュニケーション学	佐々木准教授
後	26	1月16日(火)	6	講義	緩和ケア・サイコオンコロジーへの応用	C-5-7)	一般教育機構 医療コミュニケーション学	佐々木准教授
後	27	1月18日(木)	2	講義	ストレスマネジメントへの応用	C-5-7)	一般教育機構 医療コミュニケーション学	佐々木准教授
後	28	1月18日(木)	3	講義	まとめ:患者心理とコミュニケーション	C-5-1)	一般教育機構 医療コミュニケーション学	佐々木准教授
後		1月29日(月)	2	試験	ユニット試験		一般教育機構 医療コミュニケーション学	佐々木准教授
後		1月29日(月)	3	試験	ユニット試験		一般教育機構 医療コミュニケーション学	佐々木准教授